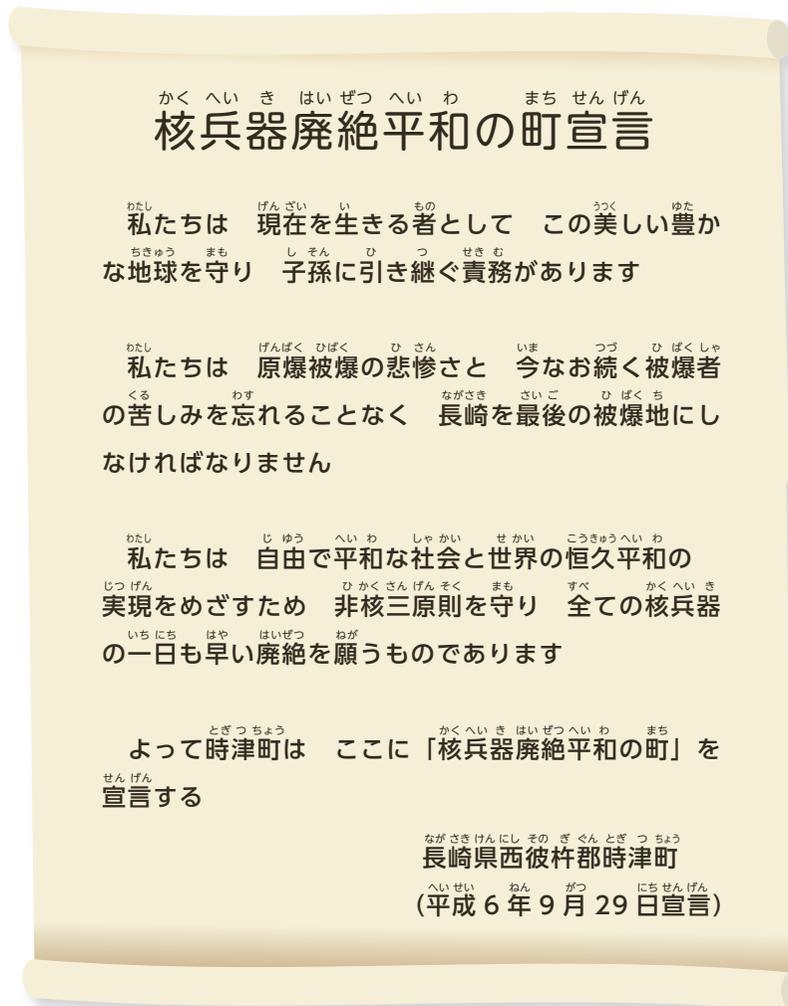


## 時津町平和推進事業の歩み

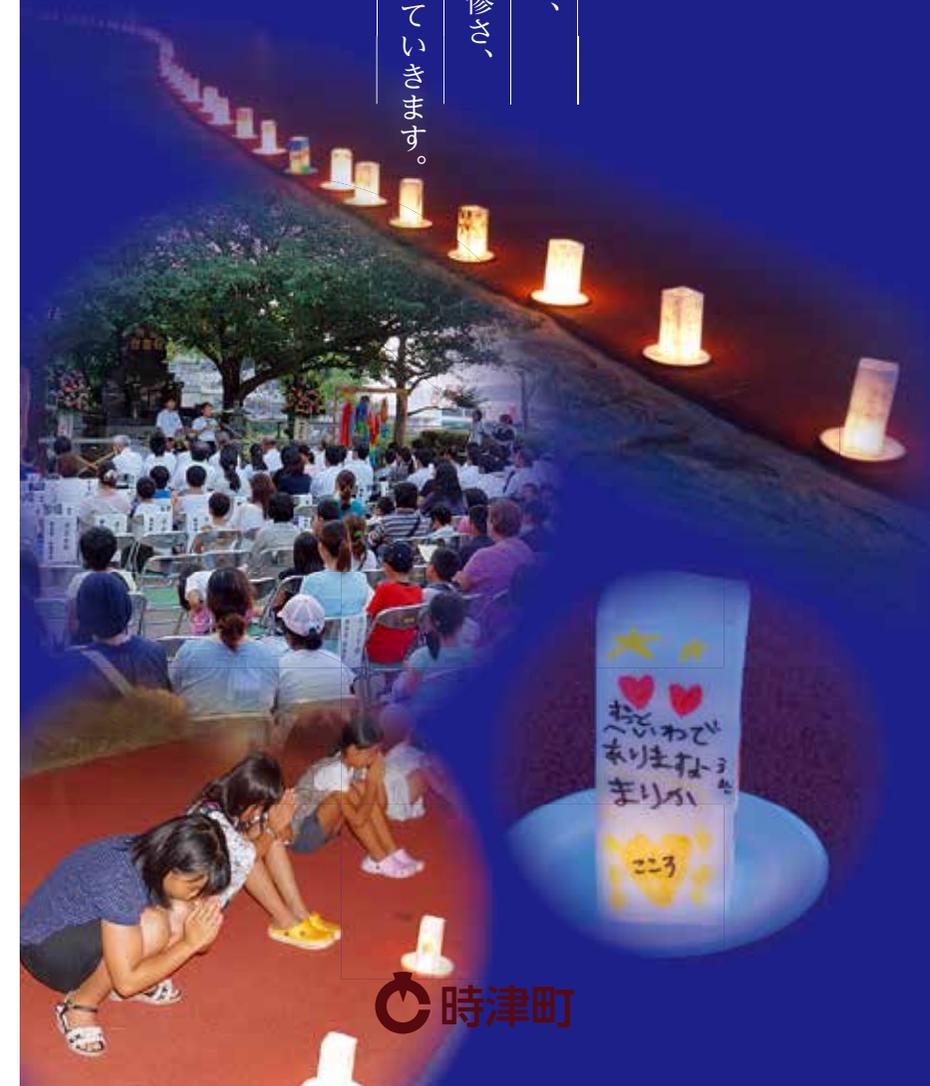
平成6年	○9月29日「核兵器廃絶平和の町」を宣言
平成7年 (被爆50年)	○原爆体験記「あの日を忘れない」を発刊 (昭和48年発行「思い出の原爆記」改訂版) ○原爆パネル展示(役場玄関ホール)
平成10年	○中央公園・役場玄関の2カ所に宣言碑を設置
平成13年	○日本非核宣言自治体協議会に加盟
平成15年	○被爆2世クスノキ植樹 文化の森公園2カ所、町立小中学校6カ所、 時津保育所
平成16年	○平和記念原爆展 各小中学校で壁新聞、メッセージ等を作成し、 パネルと一緒に展示 ○竹山広展(役場本庁舎2階ロビー) 竹山広氏のパネルを作成し、直筆原稿(寄贈)や 書籍とともに展示
平成17年 (被爆60年)	○町民総参加で平和祈念折り鶴事業 ○第1回「平和のつどい」開催 (以降慰霊碑公園にて毎年実施) ○原爆映画「アンゼラスの鐘」上映会(カナリーホール)
平成18年	○「時津町小中学生の平和についてのアンケート」実施 (町立小中学校)
平成19年	○被爆証言DVD「6キロメートル あの日を語り継ぐ」作成
平成20年	○平和首長会議に加盟 ○平成20年3月27日 「時津町核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」を公布
平成21年	○原爆パネル展示(以降、役場本庁舎2階ロビーにて毎年実施)
平成23年	○第1回「ピースキャンドル(子ども育成会連絡協議会)」開催 (以降、ウォーターフロント公園にて毎年実施)
平成24年	○原爆パネル購入(以降、町内施設への貸出実施)
平成25年	○「時津町小中学生の平和についてのアンケート」実施 (町立小中学校) ○被爆2・3世の会「平和の碑」寄贈 (ウォーターフロント公園に設置)
平成26年	○第10回「平和のつどい」開催 (場所を慰霊碑公園からウォーターフロント公園へ変更)



時津町から発信します

# 核兵器のない 平和な世界へ

わたしたち時津町民は、  
共に連携し、原爆の悲惨さ、  
平和の大切さを継承していきます。



## 平和のつどい

8月9日の長崎原爆の日に、町民の皆さまに、核兵器がもたらす悲惨さや生命の尊さ、平和の大切さを親から子へ、子から孫へと伝えていくことを目的として、長崎原爆被爆者の会時津支部と時津町との共催で、平成17年度から開催し、平成26年度に慰霊碑公園から時津ウォーターフロント公園へ場所を移し「平和のつどい」を開催しています。



## 被爆2世クスノキ

爆心地から南東へ約800mのところにあった山王神社の2本のクスノキは、原爆の炸裂による強烈な熱線と凄まじい爆風により、大きな被害を受けました。

その焼けただれた山野の中であって、そのクスノキは、みごとに息を吹きかえし、被爆の復興から立ち上がった人たちに大きな感動を与えてくれたのです。

時津町では、平成15年にこの被爆したクスノキの種から育てた苗木を、文化の森公園、町立小中学校、町立保育所に植樹を行いました。

また、クスノキは、平成元年7月1日、時津町の「町の木」として制定されています。

このクスノキが、ふるさとを大切に思う気持ち、そして、核兵器のない平和な未来を願う気持ちの象徴として大きく育ち、人々の心に安らぎを与えてくれることを願っています。



## 平和の灯火ピースキャンドル作り

子どもたちに平和への意識を高めたいとの思いから、時津町子ども育成会連絡協議会がピースキャンドルを実施しており年々参加者の広がりを見せています。

約300人の子どもたちが公民館などに集まりピースキャンドルを作成し、そのキャンドルを家に持ち帰って平和に向けたメッセージを心を入れて書き入れ、毎年8月9日にウォーターフロント公園で点灯式を行っています。



## 原爆写真展

原爆の惨禍が絶対に繰り返されることのないよう、その悲惨さを後世に語り継ぐことを目的として、毎年原爆写真展を開催しています。



焼き場の少年

## 竹山 広さんをご存じですか？

時津町では、被爆歌人として「斎藤茂吉短歌文学賞」をはじめ、権威ある数々の賞を受賞し、本町文化の振興発展に貢献された故 竹山 広 氏の歌碑の建立を計画しています。



たけやま ひろし  
竹山 広

◎大正9年2月29日  
南田平村生まれ(現平戸市田平町)  
◎平成22年3月30日没(90歳)  
(西彼杵郡時津町)

◎略 歴	
昭和16年(21歳)	「心の花」に入会 肺結核発病
昭和20年(25歳)	結核療養のため入院していた長崎市内の病院で被爆
昭和33年(38歳)	「鷲」「短歌風光」を経て、「心の花」に復帰
昭和53年(58歳)	3月時津町へ転入
昭和56年(61歳)	第一歌集「とこしへの川」を刊行
昭和61年(66歳)	第二歌集「葉桜の丘」を刊行
平成2年(70歳)	第三歌集「残響」を刊行
平成7年(75歳)	第四歌集「一脚の椅子」を刊行
平成13年(81歳)	「竹山広全歌集」を刊行
平成14年(82歳)	時津町民表彰式で特別賞を受賞
平成20年(88歳)	第九歌集「眠ってよいか」を刊行
平成22年(90歳)	3月30日 時津町にて死去

◎主な受賞歴		◎その他の代表作	
平成8年	第4回ながらみ現代短歌賞 「一脚の椅子」	■千日千夜(平11)	■遊年(平16)
平成14年	第17回詩歌文学館賞(短歌部門) 「竹山広全歌集」	■空の空(平19)	■とこしへの川
	第13回斎藤茂吉短歌文学賞 「竹山広全歌集」	■英文併記 百首抄(平20)	■地の世(平22)
平成21年	第36回遼空賞「射禱」 第32回現代短歌大賞「眠ってよいか」		

## 「被爆体験DVD」の貸し出し

原爆の惨禍を経験した世代の高齢化が進んでいます。当時の体験を後世に伝え、その悲惨さを語り継いでいくことが重要な課題となっています。

時津町では、時津の被爆者の声を収めた「被爆体験DVD」を制作しました。

被爆体験のない世代に被爆体験を継承するため、団体を対象として無料でDVDの貸し出しを行っています。



### DVD収録内容について

- (1) 6キロメートルあの日を語り継ぐ
  - 約45分
  - 被爆者の体験談を中心とした平和学習用DVD
- (2) 6キロメートルあの日を語り継ぐ～被爆体験証言集～
  - 3枚組 (I:約80分、II:約60分、III:約60分)
  - 8人の被爆者の方の証言集

【予約・お問い合わせ先】  
時津町企画財政課企画係 TEL 095-882-2211